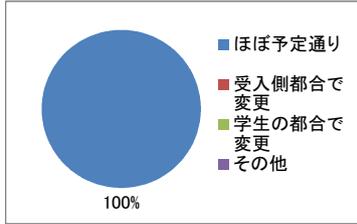


有効回答数 58

1. 学生について

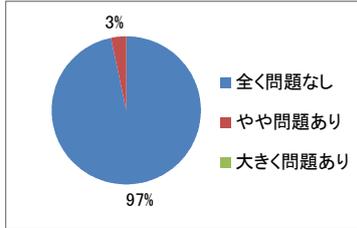
Q1-1 予定期間との差

選択項目	回答数
ほぼ予定通り	58
受入側都合で変更	0
学生の都合で変更	0
その他	0



Q1-2 就業・マナー

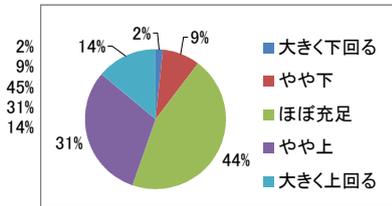
選択項目	回答数
全く問題なし	56
やや問題あり	2
大きく問題あり	0



2011年度
全く問題なし 60
やや問題あり 1

Q1-3 スキル充足度

選択項目	回答数
大きく下回る	1
やや下	5
ほぼ充足	26
やや上	18
大きく上回る	8
平均値:	3.5



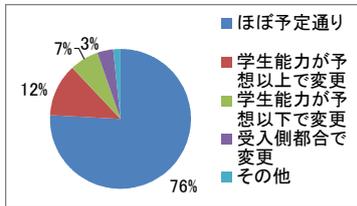
2011年度
大きく下回る 2%
やや下 8%
ほぼ充足 40%
やや上 37%
大きく上回る 13%

■ 昨年度までと同程度

2011年	3.5
2010年	3.3
2009年	3.2
2008年	3.8

Q1-4 業務遂行

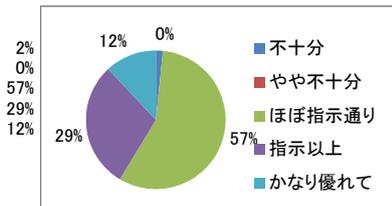
選択項目	回答数
ほぼ予定通り	44
学生能力が予想以	7
上で変更	5
学生能力が予想以	4
下で変更	3
受入側都合で変更	2
その他	1



2011年度
ほぼ予定通り 46
学生能力が予想以上で変更 5
学生能力が予想以下で変更 3
受入側都合で変更 7

Q1-5 遂行度合い

選択項目	回答数
不十分	1
やや不十分	0
ほぼ指示通り	33
指示以上	17
かなり優れて	7
平均値:	3.5



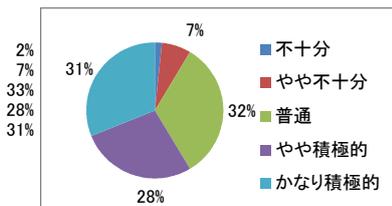
2011年度
不十分 0
やや不十分 5%
ほぼ指示通り 45%
指示以上 37%
かなり優れて 13%

▼ 昨年度に比べ指示以上に遂行できた割合が低下

2011年	3.6
2010年	3.5
2009年	3.3
2008年	3.3
2007年	3.7

Q1-6 積極性

選択項目	回答数
不十分	1
やや不十分	4
普通	19
やや積極的	16
かなり積極的	18
平均値:	3.8



2011年度
不十分 0
やや不十分 5%
普通 26%
やや積極的 35%
かなり積極的 34%

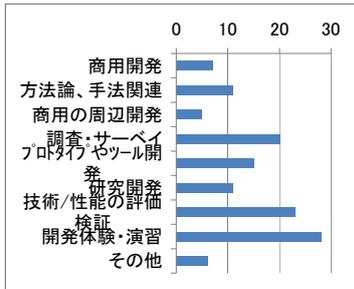
▼ 今年度はやや低下

2011年	4.0
2010年	4.0
2009年	3.9
2008年	3.9
2007年	4.0

2. アンケート(受け入れ部門)

Q2-2 担当させた業務の種類(複数回答可)

選択項目	回答数
商用開発	7
方法論、手法関連	11
商用の周辺開発	5
調査・サーベイ	20
プロトタイプやツール開発	15
研究開発	11
技術/性能の評価・検証	23
開発体験・演習	28
その他	6
126	

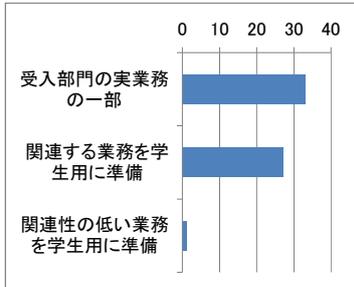


- 2011年度
- ・商用開発 9 (7%)
 - ・方法論、手法関連 14 (10%)
 - ・商用の周辺開発 7 (5%)
 - ・調査・サーベイ 11 (8%)
 - ・プロトタイプやツール開発 15 (11%)
 - ・研究開発 16 (12%)
 - ・技術や性能の評価・検証 26 (19%)
 - ・開発体験・演習 30 (22%)
 - ・その他 6 (4%)

■ 今年度は調査・サーベイが増加、開発関連(商用開発、研究開発、方法論)が減

Q2-2 担当させた業務の種類(複数回答可)

選択項目	回答数
受入部門の実業務の一部	33
関連する業務を学生用に準備	27
関連性の低い業務を学生用に準備	1
その他	1
62	



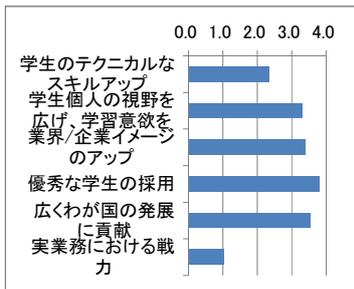
- 2011年度
- ・実業務の一部を担当させた 29 (43%)
 - ・実業務に関連する業務を学生用に準備した 36 (54%)
 - ・実業務とは関連性の低い業務を学生用に準備した 1 (1%)
 - ・その他 1 (1%)

▲ 今年度は実業務の一部を実施するテーマが増加

3. アンケート(窓口部門)

Q3-1 インターンシップの受入意義
26部門(19社)

選択項目	回答数
学生のテクニカルなスキルアップ	2.3
学生個人の視野を広げ、学習意欲を向上させるため(大学教育の支援)	3.3
業界/企業イメージのアップ	3.4
優秀な学生の採用	3.8
広くわが国の発展に貢献	3.5
実業務における戦力	1.0
その他	



- 2011年度
- ・学生のテクニカルなスキルアップを行うため(大学教育の支援) 2.1
 - ・学生個人の視野を広げ、学習意欲を向上させるため(大学教育の支援) 3.0
 - ・IT関連職の職業イメージを持ってもらうことによる業界/企業イメージのアップ 3.9 ①
 - ・インターンシップを通じて優秀な学生の採用に結び付けていくため 3.1 ③
 - ・経団連/CeFIL活動の趣旨に賛同し、広くわが国の発展に貢献するため 3.4 ②
 - ・実業務における戦力として 1.3

■ 今年度は「優秀な学生の採用」が初めて1位になった(昨年度は3位)

Q3-2 来年度の協力予定

選択項目	回答数
テーマ提供予定なし	0
減少	0
今年度と同規模	20
増加	0
その他	5

